

令和2年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	60	学校名	池新田高等学校	校長名	佐野 文子
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的な生活習慣を身につけ、規律ある思いやりあふれた人間を育成する	他者の話をしっかりと聴くことができる生徒80%以上	93.7%	A	成果目標を大きく上回ることができた。授業での聞く姿勢も向上した。
		身だしなみを自ら正す生徒90%以上	95.4%	A	全体的に良い身だしなみで生活できている生徒が多かった。
		自ら挨拶をする生徒90%以上	88.6%	B	自ら進んで挨拶をする生徒も多いが、先に挨拶をされないといけない生徒もいる。
		欠席率1.5%以下 遅刻率0.8%以下	欠席率1.7% 遅刻率0.8%	B	新型コロナウイルス感染症対応のため、例年と比較して出席停止として扱う生徒が増えたため評価が難しいが、昨年度と比較して欠席、遅刻ともに減少している。特定の生徒の欠席、遅刻の改善が課題である。
		共生・共育から学ぶことが多いと実感する生徒80%以上	75.1%	B	昨年度の68.9%から6ポイント以上上昇した。体育大会や今年度新たに実施した球技大会での交流が成果につながったと考えられる。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ	「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を推進し、学習意欲を喚起する	授業中に教員が褒めたり励ましてくれたりすると感じる生徒80%	77.8%	B	ボイスシャワーの取り組みが浸透し授業にも生きている。指導と励ましのバランスが課題である。
		生徒の到達度に応じた授業を実践している職員90%以上	96.2%	A	昨年の91.7%からさらに数値が伸び、教員の授業改善が推進されている。生徒の実態を把握し、伸ばしていく意識が必要である。
		授業に意欲的に取り組む生徒90%以上	84.4%	B	授業改善が推進され、授業形態が変化する中で生徒は対応しようとしている。生徒の成長を狙う授業改善の推進が求められる。
		他の職員の授業を年2回以上参観する職員80%以上	88.5%	A	レッツゴーウィークや校内研修など、授業参観を行う行事を設定していることによりお互いの授業を見やすい環境とな

様式第3号

					っている。内容のある参観に向けた取り組みが求められる。
	学びの基礎診断等を活用して、基礎学力が向上したと実感する生徒80%以上	58.2%	C		1年生が75.2%で、スタディサプリの活用とセットで成果が上がりつつある。2、3年生についてはスタディサプリの活用と到達度テストの振り返りの方法等を再度検討していく。
	読書週間年2回	1回。もう1回は休業中で実施なし。	B		読書週間には、来室者への啓発活動を行い、全体には紹介しなかった。図書だよりは5回発行した。読書は毎朝MTで実施しているために読書週間以上の成果をあげている。
	図書室オリエンテーション1回	1回	B		オリエンテーションはクラスごと実施したが、1人当たり貸出数は伸びていない。
	各学年もしくは各HR図書BOXの設置	学年BOXはあるが、HRBOXは有無に差異がある。	B		廊下の学年BOXには古書が置かれ、利用者は少ない。新刊を置くと管理が難しい。来年度はHRBOX設置のためHR担任が本をまとめて借りる方法を取る。
	居心地の良い図書室の環境づくり	入口に新刊書の書架を工夫し、来館者の興味を引いた。	B		現存のテーブル、椅子をコロナ対策として並び替えた。個人用机やソファも置きたいが、授業で図書室を利用するためスペースがない。利用者が少ないのは図書室がHRから遠いこともある。逆に利用者が少ないことで居心地の良い空間にもなっている。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ウ	自身の興味関心や特性を知り、主体的に進路実現を図る生徒を育成する	地域との連携により、地域を支えることの大切さや、働くことの意義ややり甲斐についての探究活動	1年：シアワセミライカイギ（実施） 2年：御前崎企業セミナー（中止）	A	地域と密接に連携したキャリア教育が意識できた。継続と更なる充実を目指す。
		様々な進学先や職業について体験・考える機会の設定	インターンシップの実施	A	コロナ禍で厳しい状況にも関わらず充実したインターンシップとなった。進学でも体験により自分の進路について考える機会を設けることを検討。
		「進路だより」の発行や進路閲覧室の充実	進路閲覧室の書架を整備	B	求人票を見る以外にも進路閲覧室の活用を促進。「進路だより」も、そのきっかけとしたい。

様式第3号

	各種説明会やインターンシップ等の進路指導、行事が十分に行われていると答える生徒90%以上	92.9%	A	体験を通して進路について考える機会とガイダンス等の説明の機会をバランスよく設定できている。
	大学進学希望者の進路課個別面談	数名の進学希望者の面談を実施	B	進学クラス担任と進路課で生徒の進学先を相談する体制が必要である。
	3年進路合同会議(検討会)	3年進路合同会議5回実施	A	就職に関しては教員間での情報共有がされている。進学については進路希望の検討を計画的に実施することが必要。
	進路指導員による面接指導	3年生全員の面接を実施	A	進路相談員の献身的な取り組みによりレベルの高い面接指導ができています。継続が不可欠。
	一人ひとりに適した丁寧な進路指導が行われていると答える生徒80%以上	89.0%	A	全体指導と個別相談をバランスよく組み合わせ、生徒の進路実現の満足度を高める。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
エ	学校内・外の行事や諸活動に主体的に参加し、社会に貢献する生徒を育成する	地域貢献、地域活動に参加する部活動の割合100%	78.4%	B	地域に出て貢献できている部活動も多いので、部活動集会などを通じて、その意義を改めて伝えていきたい。
		部活動に積極的に参加する生徒の割合80%以上	89.3%	A	多くの生徒が部活動に積極的に取り組んでいる。
		地域「寺子屋」における小学生学習支援への生徒の参加	5名参加	B	募集人数が少なかったため、2・3年生のみの参加となった。新規の参加者を開拓したい。
		池高生チャレンジ&サポート事業を通して、校外教育活動に参加する生徒を支援するとともに、報告会等により、得られた経験知を学校で共有する。	1件1名(予定)	B	負担金の上限を20,000円に引き上げたが、今年度は多くの校外活動が中止となり、申請件数は減少した。(昨年度3件6名)100周年記念事業の1つであり、非常に有意義な事業でもあるため、今後も継続していきたい。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
オ	安心・安全の確保のための環境づくりを推進する	保健だよりを毎月発行	実施	A	月1回作成し、啓発することができた。
		生活習慣アンケートの定期的な実施	3回実施	A	心の健康についての項目を作り、カウンセラーにつなげ、早期解決に向けて対応することが

				できた。
	薬学講座の実施	1回実施	A	学校薬剤師に実施していただいた。
	朝食摂取率 93%以上	87.3%	B	昨年度より数値が減少した。保健室来室時に個別の保健指導をしたい。
	保健指導により健康や安全に関する高い意識を持つ生徒 80%以上	87.2%	A	保健行事や保健体育の授業、健康観察、保健だより、ポスター掲示等で意識付けを行った。
	校内美化に努める生徒 90%以上	92.2%	A	校内美化活動を実施し、教員と生徒の意識向上を図り、日々の清掃活動に生かした。
	職員安全衛生委員毎月開催	毎月開催	A	職員の職場環境を改善すべく、環境整備、メンタルヘルス等について話し合いをした。
	校内安全点検の定期的な実施	実施	A	毎学期の敷地内設備の安全点検、職員安全衛生委員会で校内安全点検を行った。
	新入生オリエンテーション時に人間関係構築プログラム実施	中止	C	新型コロナウイルス感染予防のため実施できなかった。
	相談室担当者連絡会の実施	実施	A	生徒に関わる教員で情報交換・共有し、対応策を模索することができた。
	いじめアンケート（生活アンケートに含む）の定期的な実施	実施	A	些細なことでも情報を共有し、対応策を模索することができた。
	いじめ防止対策委員会を活用し組織的な早期対応	実施	A	問題行動が大きくなる前に相談室やカウンセラーと連携を図り、委員会で議題を共有することができた。
	先生を信頼する生徒 70%以上	74.0%	A	信頼関係を築けている生徒も多い。マナー指導も並行していきたい。
	生徒表彰の充実	式典の際に実施	A	全校が集まれない際にも、リモートで実施できた。
	重大な交通事故 0件	0件	A	交通マナーに関する意識が高まり、重大な事故を防止できた。
	交通安全教室の実施	実施せず	B	年度当初に予定していたが、実施できなかった。来年度実施できるように準備したい。
	災害時の対応力を養成するため、防災訓練を実施する。	第1回（中止） 第2回（実施） 第3回（予定）	B	第2回は簡略化した避難訓練と体験訓練を実施した。1年生に放水訓練を加えた。臨機応変な対応力を問う形式を継続していきたい。

様式第3号

		地域防災訓練への参加を促すとともに訓練参加状況を把握する。	実施せず	—	新型コロナ対応のため、今年度は実施しなかった。
--	--	-------------------------------	------	---	-------------------------

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
カ	地域や保護者に信頼される学校や開かれた学校づくりを推進する	学校・学年行事、部活動の状況、連絡事項を漏れなくホームページに掲載し教育活動を視覚化・ポートフォリオ化する。	行事が少なかったが、適時、豊富な情報量を載せることができた。	A	行事や取組は職員が協力して記事を書き、部活動は顧問個々に依頼してHPが充実した。一日体験入学やオープンスクールは、HPや池高TIMESで広報し、ネット上で募集することで延べ343人の中学生が参加した。
		池高TIMES年10回発行・配布	7回	B	時間と手間をかけて記事を集めて充実した内容となり、毎回地域に約1000部、11中学校に約100部、保護者、教員に約400部配布できた。業務量は多大であり、7回が限度である。
		日程等の工夫によるPTA総会出席率50%以上	—	—	出席人数を大幅に制限して、平日夜間に実施した。今年度中止となった、生徒による成果発表会を継続し、出席率向上につなげていきたい。
		一斉メールを教育活動の広報にも活用する。	全配信26件中3件(1月時点)	C	媒体の重要性を考えると、必要最低限の情報のみを発信するほうがよい。
		本校のPTA活動は活発であると答える保護者・教員70%以上	保護者54.0% 教員74.1%	B	役員会以外、ほぼ全ての活動が中止された。砂丘マラソン時に代替え支援活動を実施した。今年度途切れた活動ノウハウの継承が重要である。
		県実施調査のストレス値(学校全体)が県平均を下回る。	全体平均を10ポイント程度下回った	A	心理的な負担軽減に向け、相談しやすい職場の雰囲気づくりに努めていく。
		節電・節水等経費の削減に努める教職員100%	74.1%	C	昨年度95.8%から大きく低下した。普通教室に空調設備やプロジェクタが整備され、電力消費が増える状況となっているため、節電意識を高めるよう注意喚起に努めていく。